

駐大連北九州市経済事務所

◆所長 田代 昇三 ◆副所長 益野 裕至

◆副所長 呂 俐

田代 E-mail: yumeiyasu4411@yahoo.co.jp

## 中国での売れ筋日本製品紹介及び中国市場開拓考察

最近の円安の影響により中国市場では日本製品の売れ行きが非常に好調です。以前から高品質・高付加価値の日本製品は中国でも人気が高いのですが、今回は最新の中国市場での売れ筋日本製品をご紹介します。ながら、日本製品の中国市場開拓について考察してみました。

### 1. 化粧品・薬品

中国人女性も日本人女性と同じく美容には非常に関心が高いため、化粧水、乳液、パック、洗顔料等のスキンケア商品は幅広く売られています。中国では国産品の品質に対する懸念が高まっており、特に肌に直接付ける化粧品・医薬品においては高品質かつコストパフォーマンスの高い日本製品が人気です。例えば、コーセーの「雪肌精」シリーズは「中国でも品質と効果の高さは折り紙つきで非常に人気が高い」と紹介されております。また、参天製薬の「サンテ FX ネオ」は「中国産目薬は防腐剤を多く含んでおり品質面で不安があるが、この商品は眼精疲労にとっても効果がある目薬」と紹介されています。他にも現在中国で特に人気の高いものは以下のような製品があります。

「肌美精潤い浸透マスク」(クラシエ)、「パーフェクトホイップ」(資生堂)、「極潤」肌研(ハダラボ)シリーズ(ロート製薬)、「ソンバーク」(薬師堂)、「SK-II」(資生堂)



雪肌精



サンテ FX ネオ



ソンバーク

## 2. 食品

中国では食の安全が非常に問題となっており、肌に直接付ける化粧品や医薬品と同様に直接口にする食品関連においても日本製品は安心感が高いため非常に人気があります。明治の「ステップ (粉ミルク)」のように特に健康への影響を受けやすい乳幼児用食品の需要は高いものがあります。また所得の増加により健康にお金をかけられるようになったことから中国国内でも健康志向が強くなっており山本漢方製薬の「大麦若葉 (青汁)」、G y p s o p h i l Aの「飲む生酵素」等の健康食品の人気も急激に高まっています。



明治の粉ミルク



山本漢方製薬の青汁



G y p s o p h i l Aの飲む生酵素

## 3. 生活用品

中国では品質の高さ、知名度の高さから花王製品は非常に人気があります。花王製品の中でも、やはりデリケートな肌に直接触れる「メリーズ (紙オムツ)」、「ロリエ スリムガード (女性用ナプキン)」、「蒸気でホットアイマスク」等が人気製品です。「蒸気でホットアイマスク」については「日本製品で必ず購入すべきもの」として老若男女問わず人気があります。花王製品以外では、品質の高さからタイガーの魔法瓶、厚木のストッキング等が人気です。



花王の女性用ナプキン



花王のメリーズ



花王の蒸気でホットアイマスク

さて、以上のように中国国内で多くの日本製品は非常に人気があり需要が高いのはわかっていただけたのではないかと思います。

考察：

◆日本商品購買意欲（中国で日本商品が売れている現状）要因

\*日本より中国は物価が安いと思われていませんか？

現状は、北京・上海・大連など中国沿岸部では、日本で購入したほうが安い商品が多いのです。

○中国国内の物価高 毎年2～5%上昇（中国製品もそこそこ高価）

北九州市内で購入したほうが安い（食品・雑貨・衣類など）

○人件費の高騰 毎年8～12%上昇（一定の収入がある層が増加）

○中国人の中国国産商品に対する信頼度 低

○「安全」・「健康」・「子供向け」商品⇒お金をかける。（少々高くても消費）

◆日本商品の中国市場での販売 ビジネス事例

中国市場に日本製品を売り込みたいとは思っていても、実際に中国でビジネスをするとすると、「どうすればいいかわからない」、「中国に進出するのは怖い」などと思われている企業の方々は非常に多いと思います。

以下に、成功している事例を紹介致します。

大連に拠点を置く、ある現地法人（日本法人の100%子会社）は、北海道産の食品や調味料を中心に日本の食品・雑貨を中国国内（北京・上海・天津他）に販売しています。

この大連企業の特徴：

○中国国内に販売先を有している。（北京・天津他主要都市の百貨店に販売ルートあり）

○総経理は日本の大学を卒業しており日本語堪能。日本の慣習を熟知。

○大連企業といっても、日本企業が100%出資しているため実情は日本企業と同じ。

日本のメーカー（食品・雑貨他）が上記企業を活用した際のメリット：

○自社の商品が中国で売れるかどうかの目利きをしてくれる。

○目利きをして中国でも売れると思った商品は、日本国内取引。

日本の親会社が買取り、中国へ輸出。

よって、日本のメーカーが、海外市場へ商品を販売する際に問題となる、

① 代金回収 ②中国側販売代理店の確保 ③国際物流の手続き といった点が解消される。

上記のような企業と連携することにより、販売したい商品を日本国内で決済することでリスクを軽減しながら、中国市場への販路開拓が可能となります。ご興味のある方は、ご紹介いたしますので、当事務所宛ご連絡下さい。

最後に

「大連での昼食代はいくら？」

以下は昼食の際に撮影した写真です。高級なレストランではなく、我々駐在員のみならず中国人も多く利用する一般的な店です。

うどん定食の値段はなんと・・・45元（約900円）もします。

大連のごく一般的な定食屋で食事をするにしても、日本国内の定食屋で食事をするのと同程度もしくはそれ以上にお金がかかるのが実情です。



お問合せ先：

**駐大連北九州市経済事務所**

大連市西岗区中山路147号森茂大厦5階

電話：86-411-83607298

所長：田代

副所長：益野、呂俐

E-mail: [yumeiyasu4411@yahoo.co.jp](mailto:yumeiyasu4411@yahoo.co.jp)